

ピーマンの栽培

佐渡農業普及指導センター

1 栽培のスケジュール

△：定植 ■：収穫

月 旬	4			5			6			7			8			9			10			主要品種
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
露地				△		△	■															(薄肉型) 京ゆたか、京みどり 土佐グリーン (中肉型) エース ニューエース

ポイント

- ◆肥沃で排水の良い畑でマルチ栽培を行いましょう。
- ◆乾燥を防止し、風害対策を行いましょう。
- ◆ナス科作物(トマト、ピーマン、なす、ばれいしょ等)の連作は避けましょう。

2 定植

(1) 本畑の準備

【畦立て・マルチ】

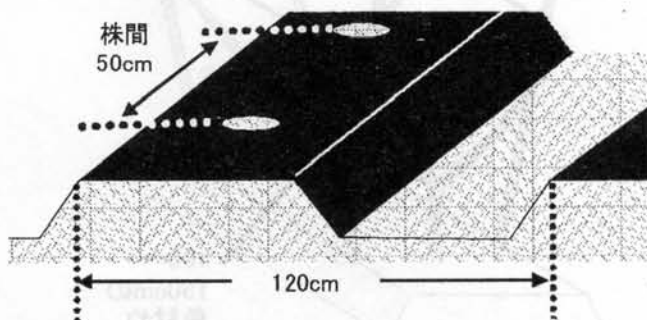
◆栽植密度

1条植え：畦巾125cm、株間50cm

1アール当たり本数140~160本

◆早めにマルチをはり、地温を高くして苗を定植します。

【施肥例(1アール当たりkg)】



肥料名	基肥	追肥					成分			備考
		①	②	③	④	⑤	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	
完熟堆肥	400									【追肥時期】 開花後、 20日に1 回程度
苦土炭カル	20									
なたね粕	15						0.8	0.3	0.2	
MMB磷加安	15						2.1	1.5	2.0	
ようりん	4							0.8		
NK化成E989		1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4		1.4	
合計							4.3	2.6	3.6	

(2) 定植

- ・暖かい日を選んで定植します。
- ・鉢の表面が少し出る程度の浅植えとします。
- ・長さ50~60cmの仮支柱を苗の本数分用意し、定植後、株に交差させて立ててやります。



3 栽培管理

(1) 整枝

- ・一番花より下の側枝は早めに除去します。
- ・花から先は2股に分岐するので、各生育時期で勢いの強い枝を選んで誘引します。

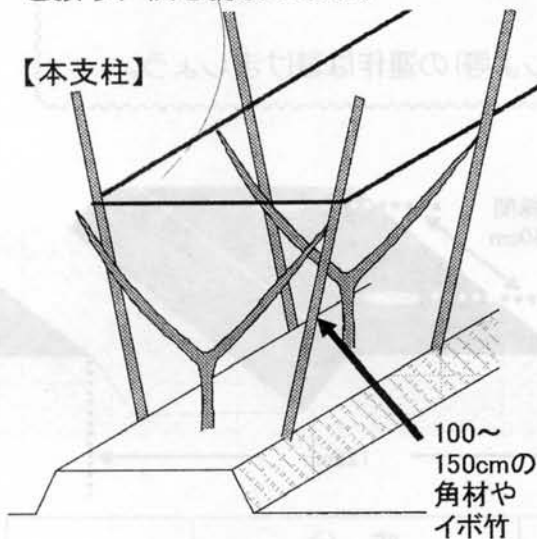
(2) 追肥

- ・開花したら追肥を行います。その後、生育を見ながら20日に1回程度を目処に行います。

(3) 支柱たて(本支柱)

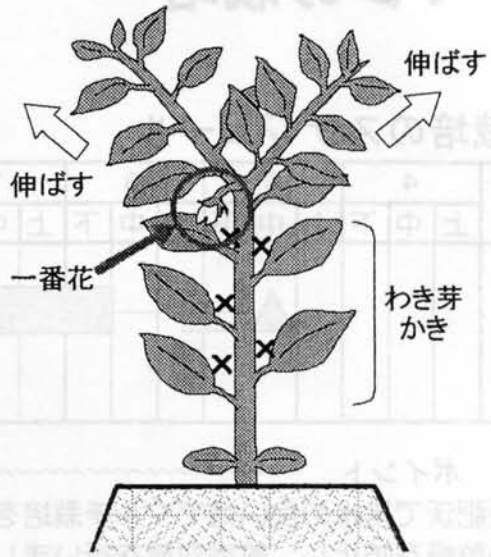
- ・収穫が始まったら本支柱を立ててやります。
- ・本支柱は長さ100~150cmの角材かイボ竹等を使用します。
- ・ピーマンの生長にあわせてテープやマイカー線を張り、枝を誘引します。

【本支柱】



(5) せん定

ふところ枝は随時せん定し、古葉や病葉は適宜摘葉します。



(4) しきわら

マルチは定植後の地温を上げ、苗の活着や初期生育の促進、雑草防止に効果がありますが、根が上根になると、夏場に向かって地温があがりすぎるため、根が傷んだり、着果が多くなってくると株が萎れたりしやすくなります。梅雨時期にはマルチを寄せてしきわらを行うか、又はマルチの上からしきわらを行い、乾燥防止や地温の低下を図りましょう。

4 収穫

- ・ピーマンの開花~収穫までの日数は品種や温度によって異なりますが、高温期で20日程度、低温期で30~40日となり、大果種で長く、小果種で短くなります。
- ・一般的な薄肉種の品種では1果平均30g程度でこまめに収穫し、株に負担をかけないようにしましょう。
- ・初期は若採りをし、草勢を強め、最盛期は着果周期の波をみながら調整すると良いでしょう。

ピーマン

《殺虫剤》

剤系	薬剤名	価格 ／容量	農薬使用基準				主な適用害虫				
			濃度・量 (10a)	使用期間 (収穫何日まで)	使用 回数	含有 成分	アブラ ムシ類	オオタ カ	アザミウ マ類	ハスモン ヨトウ	その他
クロニコチル	ベストガード粒剤	1,249 ／1kg	20kg	定植時	1	1	○				
ネオニコチノイド	★モスピラン水溶剤	1,764 ／100g	4000倍	収穫前日	2	1	○		○		
IGR系	アタブロン乳剤	1,176 ／100ml	2000倍	収穫前日	3	1		○	○	○	

《殺菌剤》

剤系	予防・ 治療効果	薬剤名	価格 ／容量	農薬使用基準				主な適用病害							
				濃度・量 (10a)	使用期間 (収穫何日まで)	使用 回数	含有 成分	疫病	軟腐病	うどん粉	黒枯	黒腐病	炭疽病	その他	
フェニルアマイト	予防	リドミル粒2	3,727 ／3kg	2～3g ／株	収穫前日	3	1	○							
有機塩素	予防	ダコニール 1000フロアブル	913 ／250ml	1000倍	収穫前日	3	1			○	○		○	斑点病	
銅	予防	コサイドボルドー (水和剤)	1,291 ／500g	1000倍	—	—	1		○			○		斑点細菌病 褐斑細菌病	

《除草剤》

剤系	薬剤名	価格 ／容量	農薬使用基準				摘用
			濃度・量 (10a)	使用期間 (収穫何日まで)	使用 回数	含有 成分	
アミノ酸	バスタ液剤	2,047 ／500ml	摘要参照		3	1	収穫前日まで(雑草生育期間定植前又は畦間処理)

★印は毒劇物農薬です。購入時には印鑑が必要となります。
 ※掲載価格は、平成22年3月現在の当用価格(税込)です。
 ※登録農薬は、平成22年3月現在の登録内容です。